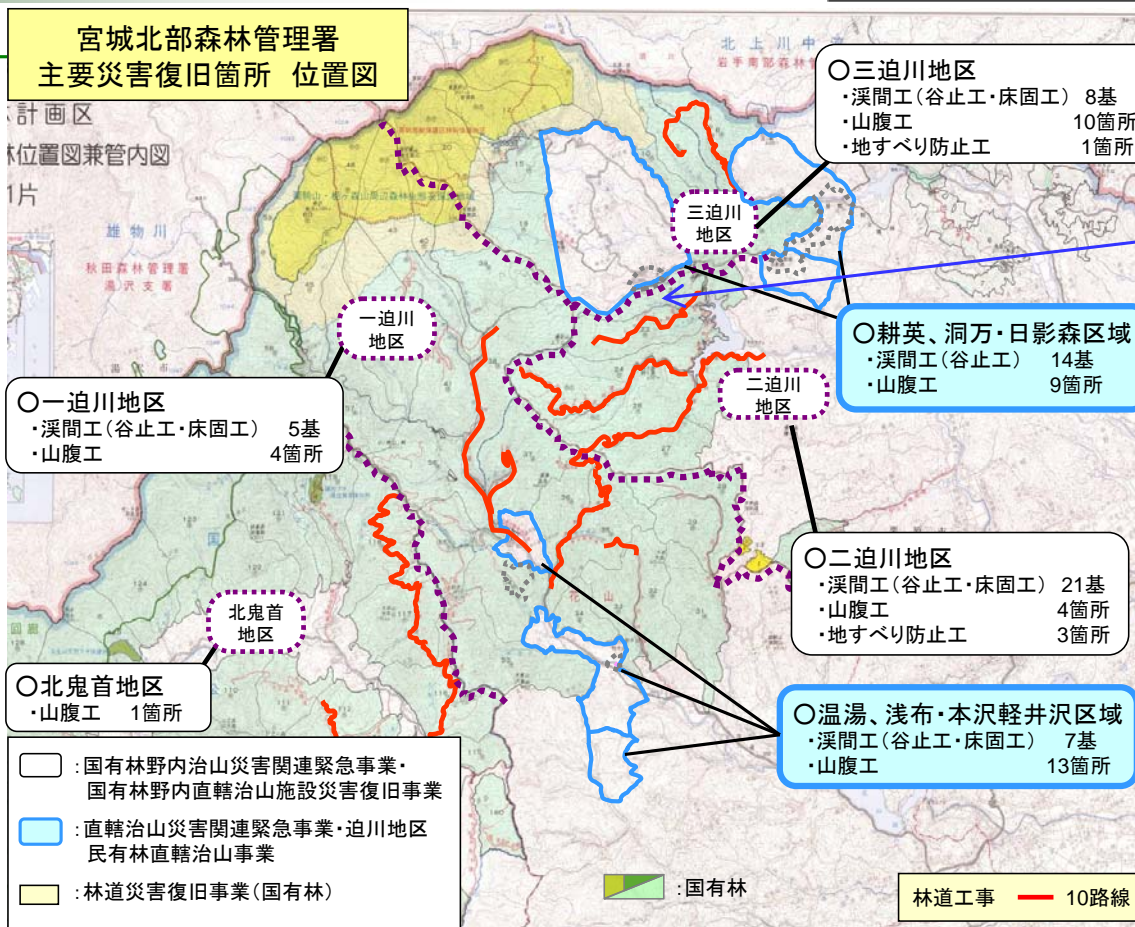
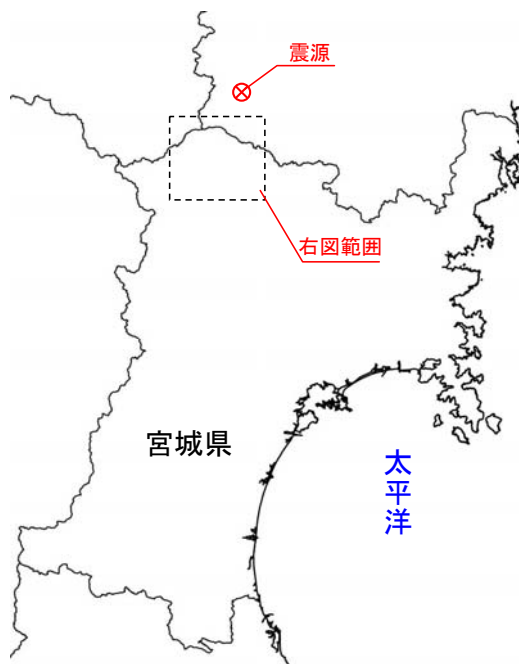


荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。  
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



### 概要

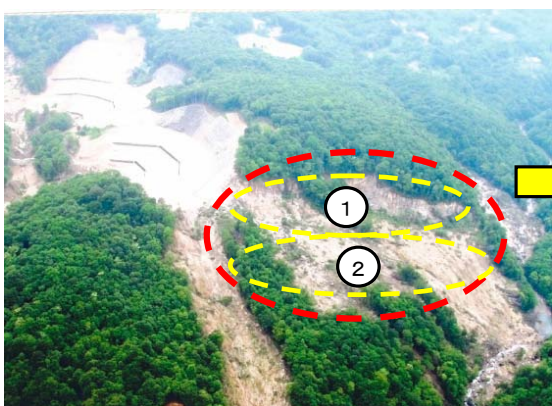
平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成22年度末までに国有林治山事業で溪間工34基、山腹工19箇所、地すべり対策工4箇所、民有林直轄治山事業で溪間工21基、山腹工22箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。  
平成23年度は、前年度からの継続箇所を含め、国有林治山事業で11件、民有林治山事業で16件の工事を行います。



### 被災地の復旧状況(山腹工)

#### ○耕英Ⅱ(H22)治山工事

不安定な斜面を安定させ、移動性の高い残留土砂を固定させるため、法枠工と土留工を施工しました。併せて、山腹緑化工を施工し、侵食の防止と早期の森林への回復を図ります。



被災時の状況



現在の復旧状況(法枠工及び土留工、山腹緑化工等を施工)



平成23年度 工事予定箇所

1 耕英 [溪間工(コンクリート谷止工)]

大規模な崩壊地からの土砂流出が懸念されているため、下流にコンクリート谷止工をつくります。



上流部の荒廃状況



谷止工設置予定位置

2 水無沢 [山腹工(モルタル吹付工)]

荒廃した山の斜面の拡大や土砂流出を防ぐため、特殊モルタル吹付工を行います。



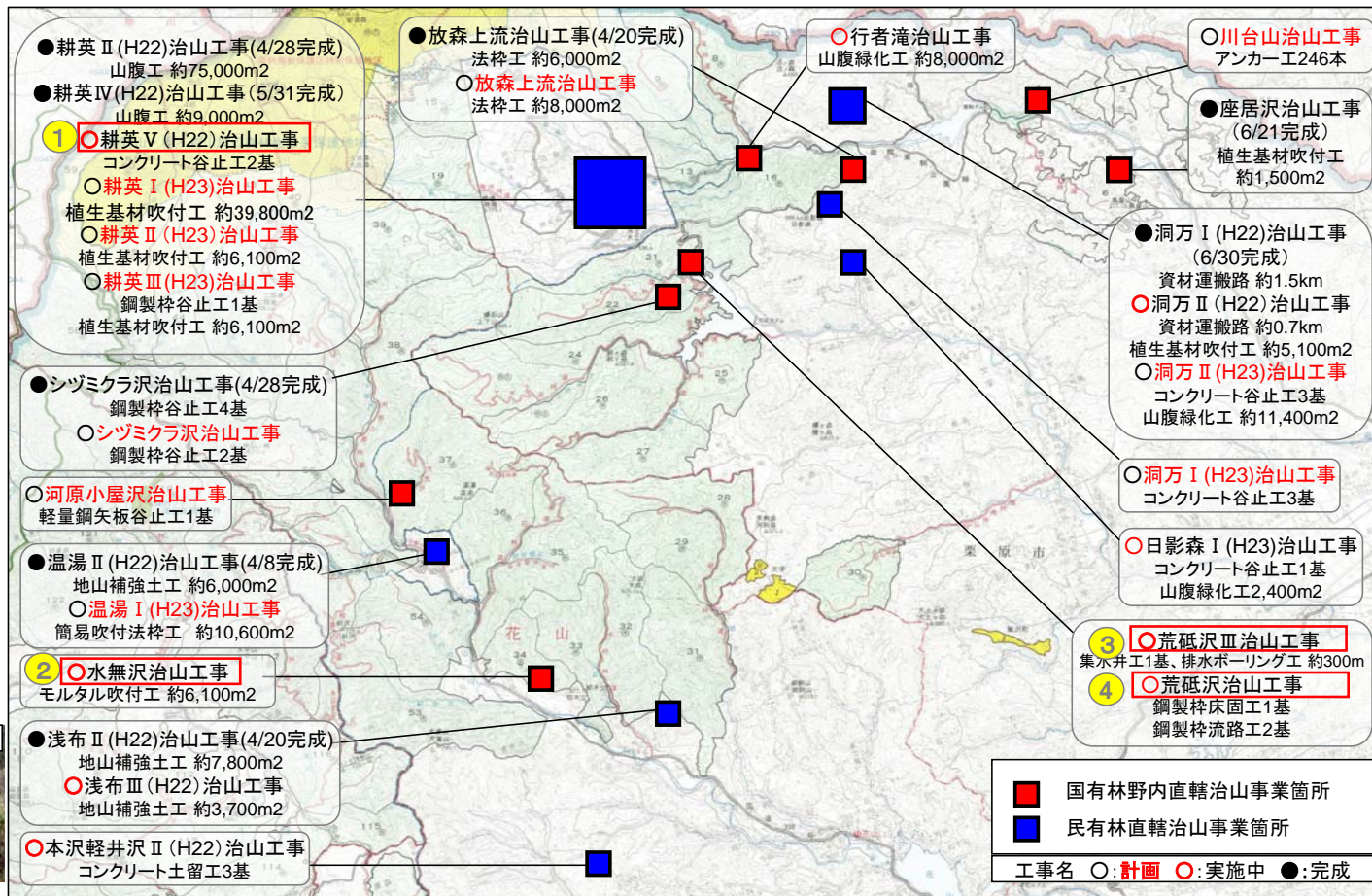
山腹工施工箇所

3 荒砥沢Ⅲ [地すべり防止工(集水井工、排水ボーリング工)]

地震による地すべりによってできた湛水池の水位の上昇を防ぐため、排水ボーリング工を行います。

4 荒砥沢 [溪間工(鋼製枠床固工、鋼製枠流路工)]

降雨等による地すべり地内の不安定土砂の流出と溪岸侵食等を防止するため、鋼製枠床固工と鋼製枠流路工を行います。



荒砥沢ダム

- 排水ボーリング工
- 集水井
- 湛水池
- 鋼製枠床固工
- 鋼製枠流路工